

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが  
**住んでよかった**  
と思える川西市に...

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市議員団控え室 TEL740-1111 (内線4020)

直通FAX759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



## 「総括質問」 川西病院の指定管理から1年 越田市長「市民と共に歩む」を評価、「立ち止まる勇氣」ただす

私(黒田)は、3月議会で越田謙治郎市長の施政方針「かわにし新時代始動」市長として2年目の決意など」に対して、会派を代表して総括質問を行いました。

市政運営の中、様々な課題として296床の新病院を建設する解決を実行する時、市長といたしために購入予定でしたが、突如「市民と共に歩む」という姿然現川西病院との統合計画勢は評価されるものです。に転換して土地を市が購入。情報提供・説明責任、そして狭い土地に400床の新病院を市民の声や願いを聴くことは建設するという無理な計画に大切なことですが、聞きっぱなしになりました。駐車場も確保でなしでは困ります。これしかきかないのはそのためです。「変える勇氣」「立ち止まる勇氣」を求めて討論しました。163床減る計画です。

### 計画に程遠い水準

市立川西病院の管理・運営が協和会に指定管理されてから1年を迎えます。案じていない医師や看護師の確保が400床に、医師・看護師の確保が十分でなく、入院・外来患者数とも計画水準には程遠い結果になっています。4階北病棟は閉鎖のまま、看護体制も10:1のまま。7:1に戻せない状況で新年度をむかえようとしています。

### 新病院の無理さ



この間、お伝えしているように、新病院建設予定地は、浸水想定地(1.3m)であり、皮革工場だったことから六価クロムなどの汚染土壌地です。また、この土地は協和会の協立病院(313床)が移転先と

全国的な指定管理者制度の問題点に学び、市直営での公営企業会計・全部適用で近畿中央病院(学校共済会)との統合が進められます。スタッフの奪い合いに

フは市の職員です。スタッフの奪い合いが予想されます。

### 病院規模縮小し生きる

たんぽぽだより209号でお伝えした「市立芦屋病院」では、人口や財政規模に応じて病院規模を縮小(73床減の199床)し、財政の立て直しや病院経営で成果を上げています。こうした事例を取り上げ、「新病院建設の内容を見直すこと」「現川西病院を縮小して存続、入院機能を残すこと」などを提案、追及しました。

### 越田市長は、「急性期の入院機能を残してほしい」という意見があることは承知している。

その点は非常に難しい状況である。ただ、市としても、ここに大きな課題があると認識している。これから、地域住民から意見(北部の医療・跡地活用などについて)を頂く。民間事業者等の参入の意向、こういったものも重要になっていくので、改めてしっかりと検討を進めていきたい」と答弁。急病ベツド削減など国・県の医療制度、市の構想ありきで進める姿勢と「住民の皆さんに必要なもの意味のあるものをつくっていく」と繰り返し返す答弁。この矛盾をどう乗り越えていくのか、まさに今、住民が主人公の政治を貫いていくのが問われています。

地域医療の後退は許せない、現病院活用や入院機能を残すことなど強く求めていきましょう。

### 基本設計段階変更可能

多田のベリタス病院が、来年3月産科・小児科をやめることを発表しました。北部の医療体制がより厳しい状況になっていきます。

今なら、まだ基本設計の段階です。すから、ベツド数を含め計画変更が可能です。

### 現病院は197床に縮小

2020年度予算審議の中で川西病院は病床数234床を197床に減らす計画を打ち出しました。昨年4月に大量の退職者が出て元市の職員142人に減り、さらに2月現在127人に減少、新年度は何人になるかは、まだわかりません。

川西病院 元市職員の人数・入院と外来患者数(人)

	2019年4月1日時点	2020年2月1日
医師	21	20
看護師	94	83
助産師	6	5
準看護師	3	2
医療技術職員	18	17
事務職員	0	0
合計	142	127
入院患者(1日平均)	136.9	1月 135.9
入院稼働率	58.5%	58.1%
外来患者(1日平均)	344.2	1月 352.7



第3弾まちかどカフェ  
10か所で、報告・宣伝カフェを実施。声が聴こえたと寄って頂き、いろいろなご意見に出会うことができました。

身は、医療水準の維持・スタッフの確保」という基本協定はまもられないと判断したことになります。

### 身の丈の北部医療を

決まってもいないのに、決まったからと突き進む無謀さ。止めることができないと突き進む危険。人口増への抜本的な手立てはなく、税収が減る現状の中で、しっかりと身の丈にあった計画の見直し、北部医療の確保を目指して、声をあげ行動しましょう。